

これの名称の理にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に  
天理教△△分教会長 慎んで申し上げます

〃日々ををやの思案と云うものわ 救ける模様ばかり思うてる〃  
と仰せ下さいましたが 私達は早くから栄えある月日のやし  
るであり ひながたの親なる教祖の道具衆としてこのお道に  
お引き寄せ頂き 洵に感謝の念に堪えません

その中にも今日の吉き日は これの教会にお許し頂きました  
月次祭の日柄に当たりますので 只今から鳴物の調子を合せ  
声高らかに明るく勇んでたすけづとめを勤めさせて頂きます  
さて 去る御本部の秋季大祭の於いて 真柱様は〃諭達第二  
号〃を公布されましたが 今尚病む人は絶えず 悩みの種は  
誠に尽きない それは元を知らぬからであると仰せられ「こ  
の元」を知らせることこそこの道の神髄である 徒に我欲に  
走り 安逸に流れがちな人々に 心の定規を提示し 元なる  
をやの思いをにをいがけすることの大切さを強調されました  
更に 身上に苦しみ事情に悩む人々へのおたすけこそ よふ  
ぼくの何よりの任務であると加えられました 尚私達の身近  
な今年の目標たる〃因縁の自覚を通して信仰信念の確立を期  
し 年間おぢばがえり〇〇〇〇名を達成しよう!〃を改めて心  
に強く味わい直し

「人を救ける心は真の誠一つの理で 救ける理が救かる」  
との御教示を胸に 常々に人救いを念じて誠に心で通るとこ  
ろ 内々は自づと睦まじく治まり 世の人々にも成程の理が  
映り 土地所に陽気ぐらしの種を蒔くことになる。私達は愈々  
教祖百二十年祭を身近な目標として 誠の道を踏み行い 一  
層「今からたすけするのやで」と世界ろくじに踏み均しに出  
られた教祖の大いなるお心に御応えできますようお導きの程  
を一同と共に慎んでお願い申し上げます